

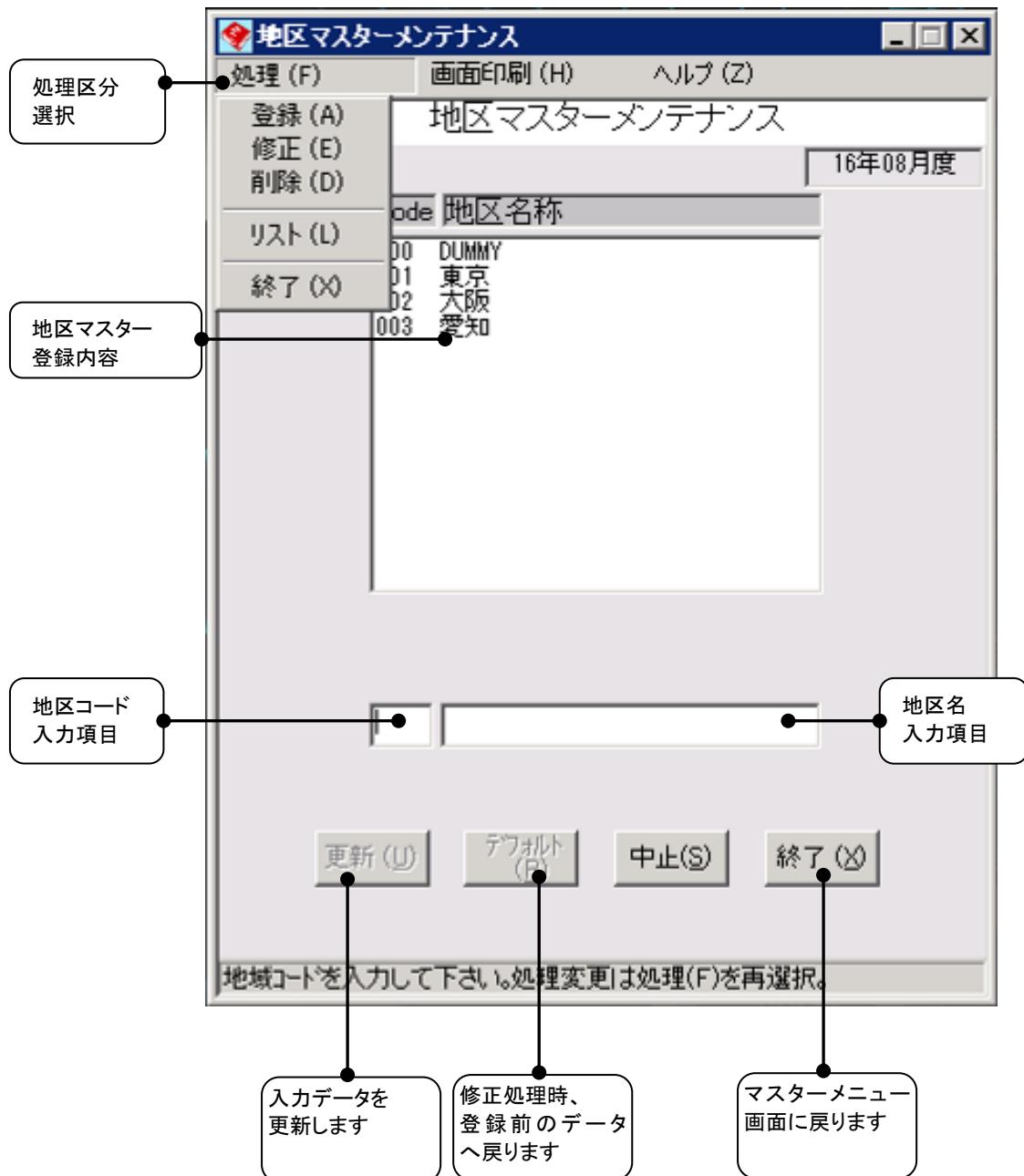
基本モジュール



I-10 地区マスター

地区マスターの役割

得意先マスターに地域属性を与えるためのマスターを登録します。



基本モジュール



I -10-1 地区マスター [登録]処理

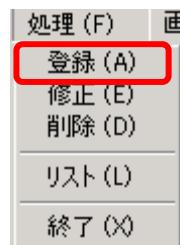
[登録]処理説明

ここでは地区マスターの登録について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 地区コードの入力

3桁以内の英数字で入力します。

3. 地区名称の入力

全角 10 文字(半角 20 文字)以内で入力します。

4. 更新ボタン

入力したデータを登録します。再度、追加登録する場合は 2. より以降を繰り返し作業します。

5. デフォルトボタン

地区コード以外の入力データを消去し、入力前に戻ります。

6. 中止ボタン

地区コードも含めた入力データを消去し、入力前に戻ります。

7. 終了ボタン

終了します。

基本モジュール



I-10-2 地区マスター [修正]処理

[修正]処理説明

ここでは地区マスターの修正について説明します。

★ 地区コードは変更不可能です！！

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。



2. 登録内容一覧画面から修正する地区を選択

修正したい地区を選択します。クリックすると入力項目へ転写されます。

3. 地区名称を修正

全角 10 文字(半角 20 文字)以内で修正します。

※地区コードの修正はできません。

4. 更新ボタン

修正したデータを登録します。

5. 呼出時ボタン

地区コード以外の入力データを消去し、修正前に戻ります。

6. 中止ボタン

地区コードも含めた入力データを消去し、修正前に戻ります。

7. 終了ボタン

終了します。

基本モジュール



I -10-3 地区マスター [削除]処理

[削除]処理説明

ここでは地区マスターの削除について説明します。

※地区マスターは得意先マスターと密接な関係にあるため、削除する場合は充分な注意が必要です
(得意先マスターで使用中の地区コードは削除出来ません)。

一度削除したマスターを元に戻すことは不可能です！！

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から
[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 登録内容一覧画面から削除する地区を選択

削除したい地区を選択します。クリックすると入力項目へ転写されます。

3. [更新]ボタン

表示している地区マスターを削除します。

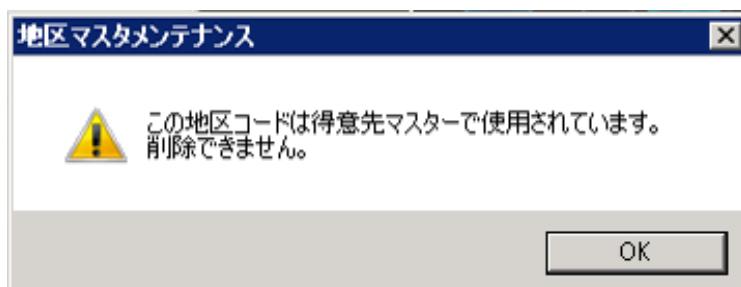
4. [中止]ボタン

地区コードも含めた入力データを消去し、入力前に戻ります。

5. [終了]ボタン

終了します。

※削除したい地区が得意先マスター等で使用されている場合は削除できません。





I-10-4 地区マスター [リスト]処理

[リスト]処理説明

ここでは地区マスターのリストについて説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。左上の[処理(F)]から[リスト(L)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 出力先の選択

画面上に表示する「画面」と、紙で印刷する「プリンタ」が選択できます。
PDF ファイルで保存したい場合は「画面」を選択します。



3. 範囲の選択

出力する地区コードの開始と終了を範囲で指定します。
開始が空欄の場合は初めから、終了が空欄の場合は最後までが出力されます。
開始欄・終了欄ともに空欄の場合、全ての地区が出力されます。



4. [出力]ボタン

リストを出力します。

5. [終了]ボタン

地区マスターリストを終了し、地区マスター画面に戻ります。

<画面出力>

画面上に出力した地区マスターリストの上段にある各種機能は以下のとおりです。

- : 印刷ボタン。画面に表示されているリストを印刷します。
- : レポートのエクスポート。リストを PDF や Excel ファイルとしてエクスポートします。
- : ページの移動。最初や最後、前後や任意のページに移動できます。
- : テキストの検索。リスト内の文字を検索します。
- : 画面倍率の変更。▼から選択、または手入力で変更できます。
- : 印刷設定。プリンタなどを設定します。
- : リストを閉じます。地区マスターリスト画面に戻ります。